

社団法人 長崎青年協会



社団法人
長崎青年協会憲章

我々は会員の団結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
会員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
寄与する事を目的とする

—今月の行事—

- 理事会 19日
- 全体研修 24日
25日

—来月の行事—

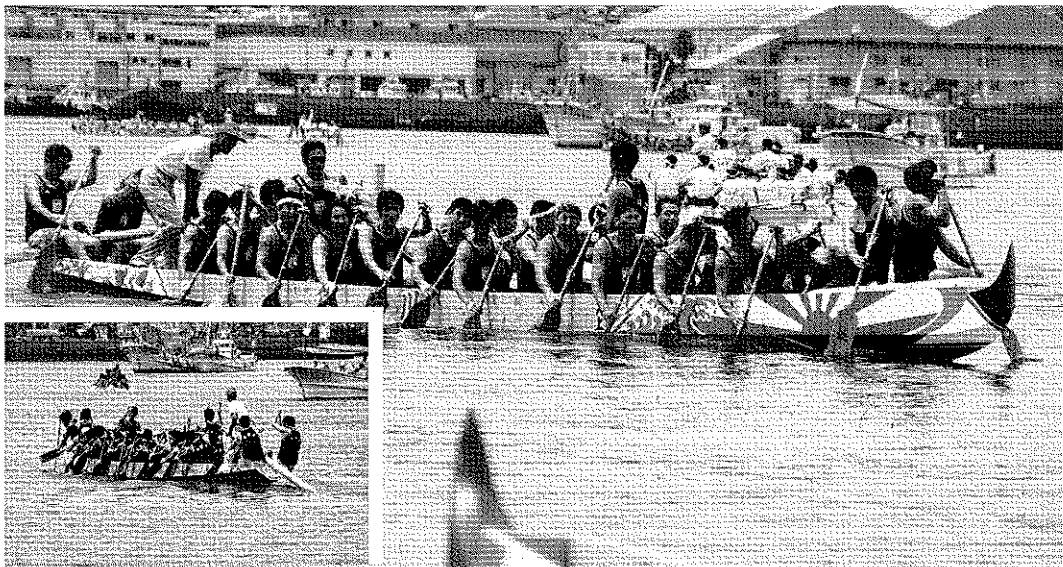
- ふうせんバレーボール長崎大会 1日
- 理事会 5日

8

発行／長崎市魚の町7-7
(社)長崎青年協会
会長 田川 俊幸
編集／広報委員会
広報委員長 原 喜一郎

スローガン

「・・・らしく」



会長挨拶

会長 田川 俊 幸



暑中お見舞い申し上げます。連日のうだるような暑さに負けない熱戦が繰り広げられた夏季オリンピックアトランタ大会も終わり、国内に於いては、甲子園にて高校球児達が、また爽やかな感動ある熱い戦いを続けています。

そのアトランタオリンピックの期間中、7月26・27・28日に「ながさきみなとまつり」が行なわれました。我々青年協会も海上イベントやクルーズをメインとして、全体的な警備・清掃まで、担当の地域開発委員会を中心とし、全会員にて大変熱く参加致しました。特に今回、新人達の運営による新企画「親子手遭ぎボートレース」では、海上イベントの更なる拡がりを感じると共に、インカムに入る

新人達の真剣な声を大変頼もしく聴かせて頂きました。そして最終日のペーロン選手権域対抗の部まで、多くの会員の参加で盛り上がり、真っ黒に日焼けした皆様一人一人に、アトランタ五輪女子マラソン銅メダリスト有森選手の『自分を褒めてあげたい』という言葉を送りたいと思います。

今回も「ながさきみなとまつり」を行うにあたり沢山の関係者の方々にお世話になりました。手作りのお弁当を差し入れて下さいました奥様方、ペーロンに乗り込んでいただいた永田先輩をはじめ、冷たい飲み物で激励いただきましたOBの皆様方、そして本事業にご理解ご協力いただきました多くの関係各諸氏にお礼を申し上げます。我々は「ながさきみなとまつり」を青年協会らしく盛り上げました。有難うございました。

7月定例会

日時：7月22日（月）

於：ホテルニュー長崎



この日の「定例会」は、会員の川口健二君の友人であります平野康治様による『インターネットの予備知識』というテーマで現在コンピューター化と雇用問題をクリアするごとく、人材を少なくしてコンピューターによる簡素化をも図れなおかつ広告等もインターネットを利用することで自社のPRも出来るという革命的な時代の到来でしょうか。会員の中にも既に会社へ導入しておられる方々も少なくはないでしょう。又、ゲームソフトも多量に出ておりますし仕事での活用はさることながらストレス防止として休憩を取り入れる時に画像の綺麗なソフトで楽しんでいただけるのです。

質疑応答の時間には活発な意見もとびだし広瀬委員長、板倉監事、白山室長、田中副会長、下釜君と多数の質問がありました。現在使用している機種が古いものには、パーツを購入したとしても本体が対応出来ないものについては、インターネットは無理であると、現在市販されている本体とパーツ（付属品）を購入したとしても約20万くらいで大丈夫という事もお話しされていました。

興味がある方もない方も是非今月の全体研修に於いて「インターネット」の研修会もあります。これを機に会員間の交流・仕事にと利用してみたいかがでしょうか。



「我が会長
海の似合う男!!」

長崎の港が、街が、夜が、踊り出す

ながさきみなとまつり'96

～サマーベージェント～

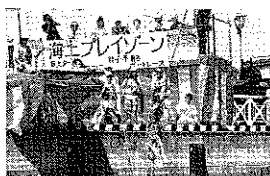
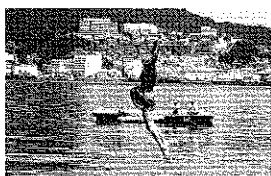
7月/26日(金)・27日(土)・28日(日)



「第3回ながさきみなとまつり」を終えて

地域開発委員長 川原 哲也

さる7月26日～28日松ヶ枝・ポートパーク両会場におきまして、無事みなとまつりを成功することができました。これも偏に関係諸団体並びに御苦労いただいた皆様方のおかげと心より感謝申し上げます。今回は前年度大成功に終わった結果をふまえて、さらなる飛躍を目指してがんばりました。参加していただいた方々に少しでも楽しんでもらい、夏の日思い出として少しでも記憶に残る様に企画してみました。そのため会員の皆様には無理なお願いをすることとなりました。あの炎天下の最中、真っ黒に日焼けしながら、文句も言わずがんばってくれた人達を思い浮かべると感動で胸がいっぱいになる思いです。とはいってもまだまだすばらしい企画になれる要素はたくさん残っています。来年さらなる希望をもてる様がんばって下さい。本当に本当にお疲れ様でした。



地域開発副委員長 地 島 秀

担当委員会の一人として、会員の皆様方連日猛暑の中、御協力ありがとうございました。

私は、主に海上ターザンコンテスト担当でプロジェクト委員会を通じて活動して来ました。企画であるターザンに関しては、昨年の実績があると

いうことで安易に思っていました、グレードUPに伴い当日目前迄あれこれしなくてはと、ドタバタしておりました。

しかし、皆様方の積極的な御協力により備品の調達、設営と本番を迎えることが出来たと思います。本番は2時間という企画で、あっという間でしたが、各会員一人一人役割を十二分に果たし、私としては、完璧な出来ばえだったと思います。

皆で考えた企画、皆で汗をかいて実行する。改めて皆一丸になれば可能である。全体事業の楽しさが分かった様な気がします。

そして、この事業に於いてあまり接する機会の無い会員の人もも交流を持てた事を嬉しく思います。



地域開発副委員長 増 崎 進 一

「みなとまつり」ご苦労さまでした。皆様のご協力をおもちまして、大成功のうちに終了することができました。私は、「親子手漕ぎボートレース」とネットワーク関連の「飛帆クルーズ」を担当いたしましたので、以上二つについて報告いたします。

まず、「ボートレース」では、運営を引き受けて頂いた白山室長、峰委員長、梅田委員長の各担当委員会、また新人の皆さんの力で、初のイベントとしては反響の大きい素晴らしい内容であったと思います。これは私自身が、飛び入りの子供さんと親子ペアを組み出場して、川原委員長が『こだわり』をもって目標としていた親子のふれあい、特に普段一緒にいる時間のかぎられる父と子の絆を強められたのではないかと感じました。これは、協会員の方々も是非参加されることを

お勧めします。来年も「ターザン」同様に続けられる内容の事業だと思います。

次に、「飛帆・花火クルーズ」について述べさせていただきます。今年も一般公募を行ない、100名の枠に対し1000名を越える募集のハガキより抽選をいたしました。なかには、夫婦二人で150歳を越える方、外国からの留学生、若いカップルなどが夏の夜空に満開に広がる花火に酔いしれていました。ただ私としては、昨年同様、土曜日の日中に「海上プレイゾーン」を催して、その夜に花火大会というかたちが盛り上がり方がより大きいのでは、と考えます。

また、今年の成功を足掛かりとして来年へ向けて頑張りましょう。

“ながさきみなとまつり”を終えて

広報委員会 廣川 誠一

長崎青年協会に入会して、初めての活動が“ながさきみなとまつり”だったので、こういう大きなイベントに参加するのは最初不安がありました。諸先輩達の援助やみんなで協力し合い、なんとか無事に終える事ができました。

暑さの中での設営及び準備は私だけでなくみなさんも大変だったと思いますが、それだけにやり終えた時は、昔やっていたクラブ活動で味わった爽快感と似たものがありとてもいい経験になったと思います。

これからもこの青年協会を通じ、いろんな事を経験し自己を磨いていきたいと思っています。

親子手漕ぎボート競技を終えて

新人研修リーダー（研修委員会）毎熊 健一

今年度の新人研修の一つとしてながさきみなとまつりでの親子手漕ぎボート競技の企画、運営を新人会員が行いました。企画、運営を行ったといっても白山室長を始め、他委員会の会員の皆様方から適切なアドバイスを行っていただいたおかげで大成功で終了いたしました。新人が行う事により新人同志に結束、また他委員会の皆様方との交流が計れると思いますので、来年度も新人研修の一つとして行って下さい。最後にこの場をお借りして白山室長を始め、他委員会の会員の皆様方にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

飛帆クルーズ

福祉委員長 清水 昭雄



7月27日“ながさきみなとまつり”の一環として、ふれあいクルーズ（青少年の海洋環境教室）を行いました。今回は、“野母

崎町手をつなぐ育成会”“三和町手をつなぐ育成会”“『聞こえとことば』の教育”の子供達と介護の方合わせて100名で長崎港内周航を飛帆で楽しみました。

車イスの子供や耳の不自由な子供達は、ふだん海に親しみが薄いのでたいへん喜んでいました。倉田君の港内ガイドに物足りず、本職のガイドさんが出演するというハプニングもありました。

ペーロン大会を終えて

例会委員会 山崎 伸一

去る7月28日（日）に行われたペーロン大会に参加された皆様、そして参加出来なくても御協力くださった皆様お疲れさまでした。

今回は、順位的には良い成績を残すことは出来ませんでしたが、タイムを見ると疲れが出るハズの2レース目を1レース目より10秒近く縮めました。これこそ今年のスローガンである青年協会らしさではないでしょうか！

来年は青年協会魂で素晴らしい結果を残したいものです。頑張りよう!! NYAチーム。

最後に差し入れまでして応援してくださいました奥様方本当にありがとうございました。

群雄の声 =OB列伝=

池本敏典OB



たしか私が協会に入会したのは、野村和夫君の誘いで銅座のスキヤキハウスに参加したのが、きっかけではなかったかと思われます。当時20名少々の会員で始まり、40名～50名の会員になった3～4年経った頃に、会員が激減し、私が五代目会長を引き受けた時、どうしたら良いかと思ひ悩んだものです。

その為、組織機構を改正し、お互い責任を持ち合つて会の運営を進めようと言う事で、少ない会員ではありましたが、特に会員開発を主に、協会の運営がなされた時期でした。

そういう事でお互いが、どういう仕事、どういう遊び、どういう状況であったか、知り尽くした気のおけない仲間の集団でした。その点、現会員の皆様は会員数も多く、全ての会員を理解する事もむずかしく、社会経済も、シビアを要求される今日的状況とは、会員間の付き合いも変化があつても当然であると思われます。

つまり私達の頃は、発展途上の仲間意識、今日は、成熟した時代の仲間意識ではないかと思ひます。しかし、時代は変化しても若い頃に知り得た仲間、経験は今日の私にとって貴重な知識であり、財産であります。

会員の皆様、今日は多くの経験を持つ仲間がおられます。そうした仲間の知識を得る為にも、参加をし、本業以外の協会活動を通して、実践する事が、大切ではないかと思ひます。最後に私の仕事を一言と言う事ではありますが、市政に参加して、約20有余年、長崎市は、特に、財政収入に恵まれず、厳しい状況にあります。私の当初のスローガンである、「市民の税金を大切に使う」政治を目指し、頑張っていきたいと思ひています。

会員皆様の益々の御発展と御活躍を御祈り申し上げます。

OLYMPIC YEAR

この原稿を作成しているのは、ちょうどアトランタオリンピックの閉会式の日です。五輪記念公園の爆弾テロ事件もありましたが、無事盛大なる閉会式を終えた事だと思います。

思い起こせば7月22日に行われたサッカーでは日本代表が優勝候補筆頭のブラジル代表を1対0で破るという快挙を成しとげた事は本当にやれば出来るという熱い想いを感じました。ましてや唯一の得点に絡んでいたのは長崎市出身の路木 龍次選手のスルーパスによるものでした。長崎県代表といえばアジアNo.1の中国を破り決勝トーナメントに進出した女子バスケットボール、浜口 典子・永田 睦子両選手の顔がテレビの画面上に何度も映し出されるという活躍をし、オリンピック7位という原動力になったと思ひます。

水泳では惜しくもメダルは取れませんでした。背泳ぎで決勝進出を果たした中尾 美樹選手。陸上1600mリレーでは二次予選でアンカーをつとめた田端 健児選手。日本チームは見事決勝に残り5位入賞を果たしました。本紙で紹介したカヌーカヤックフォアに出場した西 夏樹選手も決勝進出はなりませんでした。自分の力を最大限に発揮した事でしょう。

やはり世界のひのき舞台上で地元出身者が出場する競技には力が入った応援をするものです。長崎県選出の選手の皆さん本当にお疲れさまでした。そして感動をありがとうございました。

女子マラソンの有森 裕子選手が銅メダルを獲得し、笑顔あり、涙ありのコメントを残しました。そのコメントの一言一言にもものすごい重みを感じ、心に打つものがあったと思ひます。なぜその言葉に感動し、重みを感じるのかというと、その選手が本当に一生懸命努力し、思う存分の力を発揮し、頑張った成果が皆さんの心に伝わったからだと思ひます。

私も永年スポーツに取り組んでた一人ですが、選手達の競技を終えた時の満足感、充実感、悔しい思い等色々な事が頭をよぎります。勝っても負けても、また次も頑張るぞという想いがあります。一生懸命練習をやつてのぞんだ試合の結果だから負けても責める人は誰一人いません。

人に感動を伝えるのは容易な事ではありません。まず自分自身が一生懸命になることだと思います。スポーツを通して例をあげましたが、一般社会に於ける大事な要素ではないでしょうか。私も含め、青年協会もこれらの要素が不足がちになっているような気がします。もう一度気を引き締め、競技者のつもりで人に感動を与えられるよう頑張っていきたいと思います。

次号は今現在最も注目を浴びている女子テニスの伊達 公子選手について特集を組みたいと思ひます。迄うご期待!?

広報委員会 櫻井

韓国→長崎『社長崎青年協会を訪ねて』

日時：平成8年7月23日

於：銀鍋



3年前に研修委員会が韓国への研修旅行を企画して30数名の(家族も含めて)メンバーでサラソ協会のキム・スージャさんをたずね、何人かのボランティアの方々とボランティアについての話をしました。

そして今年、韓国から(社)長崎青年協会へ訪問がありました。長崎の名所等をご案内して、昼食を一緒にとり楽しいひとときを過ごされていた様に思われます。

これからも交流が深まるようにお祈りいたします。

生きる灯の とうとさかたる 祈念像 『8・8・8』

日時：平成8年8月8日

於：平和公園



昨年、被爆50周年という年月を迎えた長崎。今年も、生きる灯のとうとさを消すことなく、大人から子供へ伝えるごとく、原爆の恐怖をも忘れる事がない様に言い伝えられていくことを希望する。この日子供達が大人の人と一緒に、ローソクに火をつけ平和の泉の周りに灯をともしました。

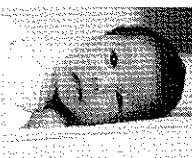
“このへいわ だいじなへいわ みんなで まもろう”

新入会員配属決定

廣川 誠一 (8/5付・広報委員会)

山口 雄一郎 (8/5付・福祉委員会)

生誕おめでとう!!



名前/拓朗(たくろう)くん

誕生/H8. 7.15

体重/3170g

父より/生まれてきてくれて
ありがとう! 人の
気持ちを大切にする
男になって下さい。

松島 健二君
(第1子)

新入会員紹介



仁藤 和彦君

血液型: B型

勤務先: 第2総合企業(株)
ホテルステーション

生年月日: S31. 2.13 あじさい

自己PR: 頑張ります!!

翔ばたけ 同好会!!

NYA同好会

●麻雀同好会

別紙のインフォメーションへ
ご案内明記しております。



●野球同好会



見事な戦い振り。NYAチームのメンバーはい
つになく燃えています。この勢いでGO!!

7月17日(水) NYA×レッドデビル

7月20日(土) ランプライター×NYA

7月25日(木) NYA×ゼロス

お詫び/訂正(7月号)

P3 ながさきみなとまつり組織図【クルーズ担当】根倉 和人→板倉 和人